



ノロウイルス、流行ピークがやってきます！

ノロウイルスについて

感染経路: 人の糞便・嘔吐物、二枚貝等に存在し、調理従事者からの二次汚染。

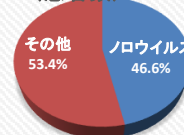
症状: 潜伏期間は平均1~2日。吐き気・嘔吐からはじまり、腹痛・下痢・発熱が起こる。

感染していても症状が出ない場合があります、これを”不顕性感染”といい、自覚がないまま感染を拡げてしまいます。(日々の健康管理、衛生的な手洗いの実施が重要で、定期的なノロウイルス検査により、早期発見に繋がります。)

特徴: 感染力がとても強く、少量のウイルスでも感染し、食中毒1件あたりの患者数も多くなっております。



令和5年 病因物質別発生状況
(患者数)



厚生労働省「食中毒統計調査」より

厚生労働省『大量調理施設衛生管理マニュアル』より抜粋

- ・調理従事者等は臨時職員も含め、定期的な健康診断及び月に1回以上の検便を受けること。検便検査には、腸管出血性大腸菌の検査を含めることとし、10月から3月までの間には月に1回以上又は必要に応じてノロウイルスの検便検査に努めること。
- ・ノロウイルスの検査に当たっては、遺伝子型によらず、概ね便1g当たり 10^5 オーダーのノロウイルスを検出できる検査法を用いることが望ましい。

弊社で受託している検査では・・・

	検査法	検出感度
遺伝子検査	RT-PCR法	10^5 未満
抗原検査	生物発光酵素免疫法(BLEIA法)	10^5

この2つの検査法が「大量調理施設衛生管理マニュアル」適応の検査法です。

9月よりノロウイルス検査のお問い合わせを多数いただいております、10月~3月の間は毎月検査を希望されるお客様も多くいらっしゃいます。

また今年は湧き水を原因とした事件や滝周辺での川遊びの際の事件も発生しており、弊社では食品・食材や水中のノロウイルス検査も受託しております。ノロウイルス検査を検討されているご施設、検査方法について迷われている方、まずはお気軽にご相談ください！



KHL 株式会社 九州保健ラボトリー
Kyushu Heken Laboratory

<http://www.kyuhoko.jp>

鹿児島事業所 鹿児島県鹿児島市小野二丁目15番2号

TEL099(218)3636

FAX099(218)3553

福岡サテライト 福岡市博多区井相田3丁目5番10号

TEL092(404)5455

FAX092(404)7015



鹿児島事業所

福岡サテライト



<http://www.kyuhoko.jp/>